

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社プリンスホテル							
代表者名	氏名	赤坂 茂好		役職名	代表取締役社長			
主たる事務所の所在地	東京都豊島区東池袋3-1-5							
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業						
	中分類	7511 旅館・ホテル						
主たる事業の概要	設立 昭和31年6月4日 資本金 36億円 従業員数 6,737名(平成25年3月現在)							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外(任意提出)の事業者						
原油換算エネルギー使用量	19,422	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	0	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

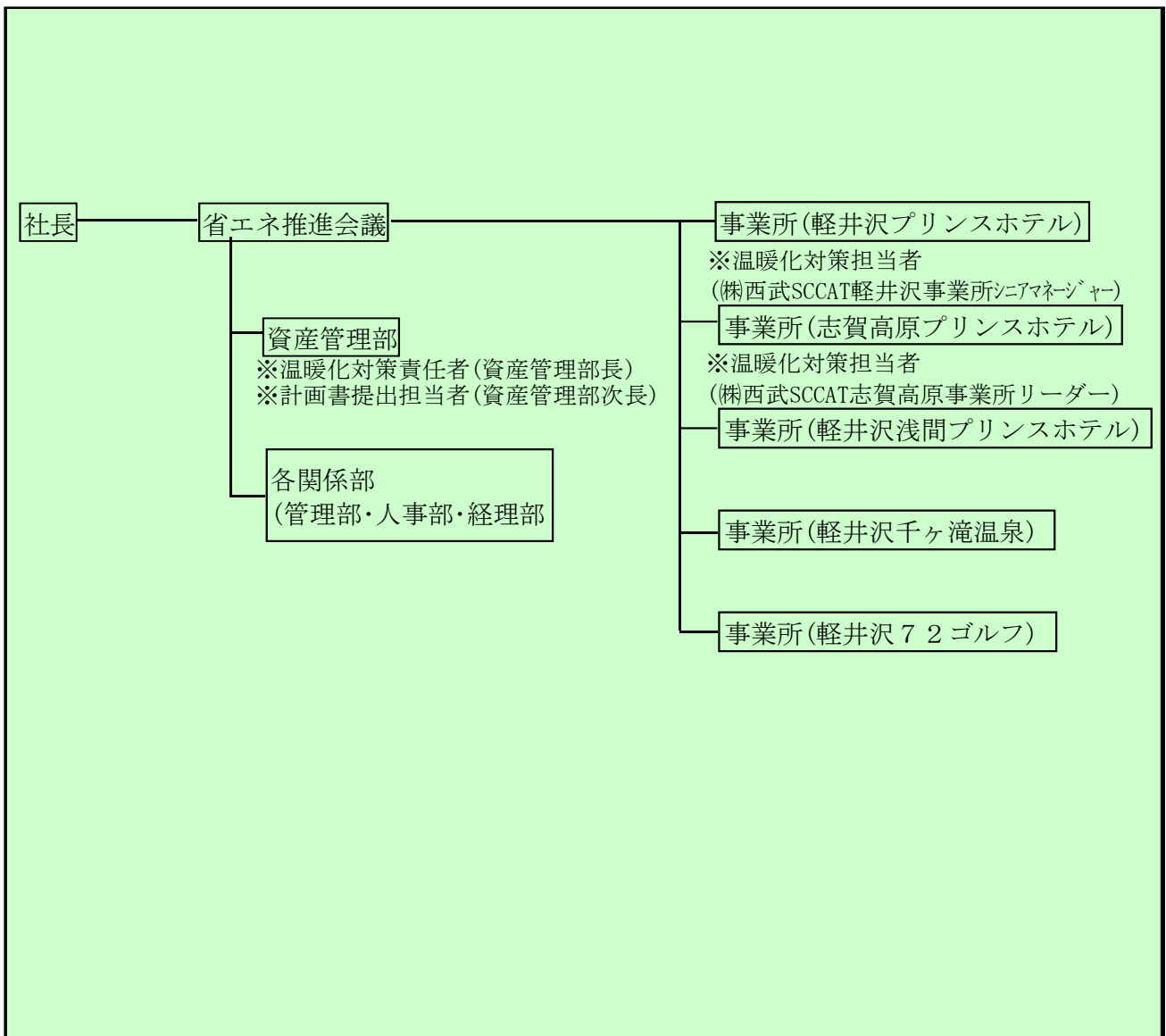
### 3 計画書(報告書)の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	閲覧場所 ; 軽井沢プリンスホテル施設管理事務所 所在地 ; 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1016-75 連絡先 ; 0267-42-8818 閲覧可能時間 ; 10:00~17:00
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

グループ理念	私たち西武グループは地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、安全で快適なサービスを提供します。 また、お客様の新たなる感動の創造に誇りと責任を持って挑戦します。
グループ宣言	共に歩むこと 常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません。 常に、地域社会の一員として行動します。
省エネ推進 取組方針	1. 環境や省エネに対する意識向上を図り、温暖化対策に努める。 2. エネルギー使用状況の把握に努め、無駄のない施設運転・運用管理を実施する。 3. 建物・設備のライフサイクル視点での修繕・更新計画を立案し、対策継続的に進める。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	38,555	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	198	単位	千㎡	
25年度	調整後排出量	33,031	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	194.68	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	
目標年度	目標排出量	37,398	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	188.83	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	<p>弊社では2008年より全国的に省エネ会議の実施及び同対策に取組み、会社としての管理標準の策定及び計画的な機器更新を進めて、省エネ法でいう年1%以上のエネルギーの効率化を進めてきている。長野県内事業所のエネルギー使用割合は全国の13.9%ではあるが、本県においても積極的に温室効果ガス排出抑制に努めたい。計画期間中第一年度の平成26年度上期に軽井沢プリンスショッピングプラザの増床が予定されエネルギー使用量としては増加が見込まれるが、地球温暖化対策に積極的に取組むため、総量ベースで基準排出量から3.0%削減、原単位ベースで基準原単位から3.0%削減のいずれかの削減を達成するよう目標を設定した。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	40,211	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	211.00	単位	千㎡	
	調整後排出量	40,138	t-CO <sub>2</sub>	原単位	190.57	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	(4.30)	%	削減率	2.11	%		
排出量等の増減理由	<p>排出量が増加した理由 ・軽井沢ショッピングプラザの増床による負荷増(変電設備容量2,600KVA 7月オープン) 原単位が減少した理由 ・エレベータ更新2台(18.5kw⇒3.5kw、15kw⇒3.5kw) ・ショッピングプラザ既存基本照明のLED化360台(45w⇒19.6w) ・スキー場リフト建替え(45kw⇒37kw)等の高効率型機器への更新を進めた。 ・年末年始の大雪による宿泊者・スキー場来場者減および主要熱源機器の運用改善</p>							
第二年度	排出量	39,807	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	211.00	単位	千㎡	
	調整後排出量	39,719	t-CO <sub>2</sub>	原単位	188.66	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	(3.25)	%	削減率	3.09	%		
排出量等の増減理由	<p>排出量が増える要素 ・計行形態の変更によりホテル営業日数が増加した事業所がある(のべ94日)。 ・客室稼働率の増加によるエネルギー使用量の増加。 排出量が減る要素 ・照明器具のLED化を順次進めている。 ・リフト、スノーマシン等の容量の大きい機器の高効率機器への更新。</p>							
第三年度	排出量	40,954	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	211.00	単位	千㎡	
	調整後排出量	40,876	t-CO <sub>2</sub>	原単位	194.09	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	(6.23)	%	削減率	0.30	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>排出量及び原単位が増える要素 ・千ヶ滝温泉の水力発電電力の自社使用をやめた分、買電電力量が増えた。 ・営業形態の変更によりホテル営業日数が増加した事業所がある(のべ94日)。 ・猛暑厳冬による空調負荷の増加。 排出量が減る要素 ・照明器具のLED化を順次進めている。 ・スノーマシン等の容量の大きい機器の高効率機器への更新。</p>							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	160103 改善整備 (油圧ELVのINV化) 軽井沢	2014	6.992	2014	1
2	エネ起	160103 改善整備 (ロビー照明LED化) 軽井沢	2016	30		
3	エネ起	160103 改善整備 (ショッピング照明LED化) 軽井沢			2014 2015	38
4	エネ起	160103 改善整備 (リフト新設建替え) 軽井沢			2014 2015	12
5	エネ起	160103 改善整備 (スノーマシン更新) 軽井沢			2015	48
6	エネ起	160103 改善整備 (ボイラ更新温水化) 志賀高原			2015	80
7	エネ起	160103 改善整備 (油圧ELVのINV化) 志賀高原	2014		2014	
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
水力発電 (千ヶ滝湯川第二発電所)	kW	220		220	0	0
水力発電 [上記を改修] (千ヶ滝湯川第二発電所)	kW		199	0	199	199
太陽光発電 (軽井沢プリンスショッピングプラザ)	kW		10	10	10	10

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	5524		73	88	78
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>	0				

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	31,054	1	32,929	1	31,785	1	33,398
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,664	1	4,398	1	4,870	1	4,088
1,500k1未満	3	2,837	3	2,884	3	3,152	3	3,468
合計	5	38,555	5	40,211	5	39,807	5	40,954

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	0	0	0	0
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	最寄り駅からの無料送迎バスを運行している。
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	—	—
2	—	—
3	—	—

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	①県内事業所敷地内の緑化、森林の保全・育成 ②食品廃棄物の減量化の推進 ③上水道水として井水・沢水を使用 ④衛生器具の節水タイプへの更新 ⑤ゴルフ場お客様用常用カートに電気充電式を採用 ⑥客室ノークリーニングサービス実施及びウォッシュアップスリッパの採用
第一年度実績	①県内事業所敷地内の緑化、森林の保全・育成 ②食品廃棄物の減量化の推進 ③上水道水として井水・沢水を使用 ④衛生器具の節水タイプへの更新 ⑤ゴルフ場お客様用常用カートに電気充電式を採用 ⑥客室ノークリーニングサービス実施及びウォッシュアップスリッパの採用
第二年度実績	①県内事業所敷地内の緑化、森林の保全・育成 ②食品廃棄物の減量化の推進 ③上水道水として井水・沢水を使用 ④衛生器具の節水タイプへの更新 ⑤ゴルフ場お客様用常用カートに電気充電式を採用 ⑥客室ノークリーニングサービス実施及びウォッシュアップスリッパの採用
第三年度実績	①県内事業所敷地内の緑化、森林の保全・育成 ②食品廃棄物の減量化の推進 ③上水道水として井水・沢水を使用 ④衛生器具の節水タイプへの更新 ⑤ゴルフ場お客様用常用カートに電気充電式を採用 ⑥客室ノークリーニングサービス実施及びウォッシュアップスリッパの採用

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	[軽井沢PH]コテージ熱源個別化、ホテル冷凍機高効率化、ショピングプラザ照明LED化 [志賀高原PH]電力契約先をCO2排出係数の低い新電力に変更 [軽井沢72ゴルフ]温水ボイラの燃料転換	約3,000t-CO <sub>2</sub> /年
その他	旧制度の「排出抑制計画書制度」上では平成19年度を基準年とする と平成25年度実績では18.9%の排出削減をしている。	9,393t-CO <sub>2</sub>